

## 核医学診療科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患に対する  $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT 検査の有用性の検討

[研究機関] 北海道大学病院核医学診療科

[研究責任者] 玉木 長良（核医学診療科・教授）

### [研究の目的]

感染症の原因検索を行う上で、 $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT 検査は有用であることが知られております。しかし、現在その評価方法や有用な撮影方法は、十分に明らかではありません。今回の調査では、現在まで行った  $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT の過去の情報を見直し、感染症の原因を同定するための優れた方法を検討します。

悪性リンパ腫において、 $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT の診断・病期判定・治療効果判定・予後予測に関する有用性は数多く報告されており、その診療に不可欠になっています。一方、関節リウマチや多発筋炎などで長期間メトトレキサートを使用されている患者さんに、リンパ増殖性が発生することは、メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患として知られています。しかし、メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患における  $^{18}\text{F}$ -FDG PET の報告は症例報告しかなく、その有用性についてはまだ明らかにされていません。今回の調査では、当院で臨床的にメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患と診断された症例を後向きに検討し、メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の評価に  $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT が有用であるか検討します。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2009年1月から2014年2月までの間に当院で、メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患を疑われPET/CT検査を受けた方

#### ●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断病名、病歴、使用薬剤、血液検査所見、メトトレキサート使用歴、画像生理検査結果（ $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT、CT(施行している場合)）

**[個人情報の取り扱い]**

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

**[問い合わせ先]**

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院核医学診療科      担当医師 渡邊 史郎

電話 011-706-5152      FAX 011-706-7155